

研究課題：遠隔胎児診断支援システム導入前後の後方視的調査

1. 研究の目的

遠隔胎児診断支援システム導入と外来開設 1 年が経過したため、県内胎児診断率の変化と、診療結果を後方視的に検討し学会で報告します。

2. 研究の方法

研究対象者；遠隔胎児診断支援システム及びそのサーバーを使用し、さいたま新都心医療拠点で周産期管理を行った妊婦及び胎児（出生後は新生児）

対象となる期間；2017 年 1 月から 2018 年 8 月 31 日まで

匿名化の方法；産院からの画像情報は専用サーバーへ送付される際に、定められた特定のアルゴリズムにより患者 ID とは別の ID により保存されます。また個人が同定される情報は、後方視的調査には含まれません。

個人情報分担管理者氏名；新生児科医長 閑野 知佳

3. 研究期間

2018 年 5 月 24 日の倫理委員会で承認が得られた日から 2018 年 8 月 31 日まで

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録および遠隔胎児診断支援システム専用サーバー内の画像情報

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究結果は周産期医療及び新生児医療、遠隔医療の関連学会等で公表予定です。診療及び研究目的以外に外部への情報提供は行いません。

6. 研究組織

研究責任者；新生児科医長 閑野 知佳

研究分担者；新生児科部長 清水 正樹、新生児科医員 西岡 真樹子

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018年7月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）